

Beanstalk Snow

リフレケア通信 138号

2021年2月 雪印ビーンスターク株式会社
ライフサイエンス事業部 発行

十二支の意味②丑(うし)は昔から食用というよりも生活のパートナーとして人のそばにいました。重い荷物を運んでくれたり、畑を耕す手伝いをしてくれたり、牛は人間にとって生活に欠かせない動物でした。力強さの象徴であり、粘り強さ、誠実さを表すと言われているそうです。

シリーズ第22弾〜4
口腔ケア最前線

本診療所の取り組み

学校法人東日本学園 北海道医療大学
在宅歯科診療所 歯科衛生士

植木沢美 先生

訪問診療や介護サービスは超高齢社会に突入した日本において、今後さらに需要が高まっていくと考えられます。できるだけ住み慣れた場所で自分らしく生活していくために、一人ひとりを地域の医療・介護事業者などが見守っていく必要性がより高まっています。しかし訪問診療や介護サービスの活用になかなか踏み切れないという方もまだまだ少なくありません。

さらにまだ訪問歯科診療とはどのようなものかを理解している方が少ないのも実情です。今回は訪問歯科診療を利用されている方の利用までの経緯や現状を少しご紹介したいと思います。



ケース1

私共の歯科診療所の近隣にある高齢者専用住宅に入居されており、そこから歯科外来へ通院されていた90代女性。年々、歩行状態が不安定になり北海道の雪道での通院には危険を感じたため、訪問歯科診療へ切り替えることを薦めました。しかし、介護サービスや訪問診療をできるだけ使用したくないとの本人の強い希望により外来での治療を続けていました。ある受診予定日の朝、「室内で転倒してしまい通院に不安があるので訪問してほしい」という連絡があり訪問歯科診療に切り替えることになりました。訪問してもらうことは私たちに負担をかけてしまうのではないかと、歯科治療の内容に制限があるのではないかと様々な疑問や不安を抱えていることが分かり、その疑問や不安の一つずつ答えていくことで少し安心され現在も治療は継続中です。食事をするのも疲れてしまうことがあり食事の摂取量も減っており体重、筋力の減少も見られるため私たちがどのようにかかわっていくとよいか本センターのケアマネジャーのアドバイスを受け、現在の生活を続けるために訪問看護ステーションの利用も説明させていただきたいと考えています。外来を受診されていたころから関わりを持っていたので変化にも気づくことができたケースだと思えます。

ケース2

本センターのケアマネジャーより高齢夫婦のご自宅への訪問歯科診療の依頼がありました。ご主人が身体的な疾患があり、奥様が精神的な疾患をお持ちになっていますが出来ない事をお互いに補い、訪問介護や通所リハビリを利用しながらご夫婦で生活されています。ケアマネジャーからこれまでの生活の様子やバックグラウンド、普段のお二人の生活の様子など様々な事前情報を得ていることもあり治療もスムーズに行うことができ、ご本人も安心して治療を受けられているようです。奥様の口腔内の清掃も以前はご主人がされていたようですがご主人の疾患は進行性のものであるため最近はなかなかうまくできないようで「自分がもっと動けなくなったら自宅で奥様と一緒に生活できなくなる」と不安を口にしていました。ケアマネジャーに報告し、連携をとっていきたいと考えております。

今後歯科診療だけではなく、広い視野を持ち、他の職種との連携を図り自分らしい生活をより長く続けられるよう支援していきたいと思えます。

4ヶ月に渡りお話を伺いました。ありがとうございました。

登録無料

雪印ビーンスターク 医療従事者用
資料請求サイト内動画のご案内

<https://www.ts-base.jp/logi/beanstalksnow/>



←こちらから登録(無料)
いただき、ご視聴ください。



弊社の「医療従事者用資料請求サイト」には、登録者様のみご視聴いただける口腔ケアに関する動画「基本的な口腔ケア」と「糖尿病と口腔ケア」の2本がございます。今回は「糖尿病と口腔ケア」についてご案内いたします。皆様の勉強や院内での研修等にお役立てください。

②糖尿病と口腔ケア

糖尿病の方に特化した口腔ケアについての内容です。糖尿病とどう口腔ケアが関係するのか、更には歯周病との関連性などから食事に関することまで勉強していただけます。糖尿病患者様の口腔ケア方法、マッサージ方法などもご紹介しています。

●メニュー● 糖尿病と口腔ケア全編(14分40秒)

- ・はじめに
- ・糖尿病と口腔ケア
- ・口の中をチェック
- ・歯の本数と食べられるもの
- ・口腔ケアの方法

